

☆ホームページアドレス  
<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>  
☆Eメールアドレス  
hisho@city.shirakawa.fukushima.jp

本庁舎 八幡小路7-1 ☎② 1111  
表郷庁舎 表郷金山字長者久保2 ☎③ 2111  
大信庁舎 大信増見字北田58 ☎④ 2111  
東庁舎 東釜子字殿田表50 ☎⑤ 2111

# 白河

## 広報

### 4

2011.4.15 No.65



白河市民の皆さんへ

## 市長コメント

◁復旧に向けて様々な動きが見られています。この震災に際しても市民の皆さんは、春に向けて咲く桜のように、前に進んでいます(イメージ)。

## 明日の白河を築くために

白河市長 鈴木和夫

震災から1か月余りが経過しました。

市民の皆様には、この間、大変なご労苦とご心配をおかけいたしました。

現在では、水道は通常どおり復旧し、道路や下水道も工事に着手できる段階まで進んでいます。また、被災者の住宅につきましては、市営住宅や民間アパートの斡旋に加え、応急仮設住宅も4月末の完成を目指し、急ピッチで整備を進めております。

小峰城や小南湖等本市の歴史的遺産も大きな被害を受けましたが、幸い国の史跡指定や歴史まちづくり法の認定を受けていたことから、国の大幅かつ専門的な支援の見通しがつきましたので、今後、関係機関等との協議を進めながら、本来の姿に復元してまいります。

しかしながら一方では、未だ原子力災害の収束する兆しが見えず、健康に対する不安や農作物等への風評被害が暗い影を落としています。

市としましては、国と東京電力に対し、一刻も早い事態の収束、有効な風評被害対策、農畜産物被害に対する補償に加え、原子力に関する情報の正確で迅速かつわかりやすい伝達を強く要望してまいります。

また、本市にも避難指示区域等から多くの方が避難されてきており、このうち54人のお子さんが市内の小中学校に入学しました。市民の皆様には、傷つき苦しんでいる方々に、是非とも暖かい心で支援の手を差し伸べていただきたいと思います。

過日、被災した市内の企業を訪問しました。現場では、「自分たちの力で会社を立て直す」という熱い思いを従業員の方から伺い、その士気の高さに感銘を受けました。産業や行政の第一線で働く人々の高い使命感と実行力が、日本の大きな財産だと改めて強く感じました。

本市は今回の震災で大きな傷を負いましたが、その土台は崩れていません。むしろこの災害で、市民の郷土愛と団結力が高まっていると思います。今後、災害の復旧に全力を挙げるとともに、企業誘致や中心市街地活性化、歴史まちづくり等これまで進めてきた重点施策についても、若干スピードは鈍るかもしれませんが、確実に実施してまいります。

自信をもって、市民一丸となり、明日の白河を築いていきましょう。